

令和5年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(国語)科目：(現代文B) 対象：(第3学年A組～E組)

科目担当者：(A・B・C・D・E組 仲野 敏樹:印)

| | |
|------------|--|
| 教科・科目の指導目標 | 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。 |
|------------|--|

| | 高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果 | 分析結果を踏まえて検討した指導内容 | 指導体制の確立 |
|------|---|--|---|
| 年度当初 | <p>1. 常用漢字（読む）について、漢字検定3級～準2級レベルの正答率は、92%程度。</p> <p>2. 常用漢字（書く）について、漢字検定3級～準2級レベルの正答率は、85%程度。</p> <p>3. 文学的文章を読み叙述描写に即して、内容を正しく理解しているか問う模試の問題の正答率は全国平均を大きく上回っている。</p> <p>4. 評論文を読んで叙述に即して、内容を正しく理解しているか問う模試の問題の正答率は全国平均と同数値である。</p> | <p>1. 漢字能力検定4級～2級程度まで差があるため、中学校までの漢字を含めて常用漢字をしっかり書けるようにする。</p> <p>2.1に同じ</p> <p>3. 表現の特徴をとらえ、評価する力を身につけさせる。叙述に即して心情を理解する力を身につけさせる。</p> <p>4. 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを書く能力を身につけさせる。生徒の能力に差があるので、生徒に合わせて指導を行う。</p> | <p>1. 漢字能力検定準2級以上の力を身につけさせるために、小テストを実施する。毎週行い、問題集の該当箇所を提出させる。家庭学習を通して、入試に必要な知識を身につけさせる。</p> <p>2. 1に同じ</p> <p>3. 比喩表現や文脈、登場人物のセリフ等に注目させ、そこに現れた作中人物の心情等を考え、評価や説明させる指導を行う。</p> <p>4. 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめさせる指導を行う。相互評価、教員による評価をすることを通して、生徒に合わせた指導を行う。</p> <p>5. 複数の文章を読み、比較することを通して、筆者の主張等をとらえる指導を行う。</p> |

| | 生徒の変容 | 生徒の学力の定着状況 | 次年度に向けた指導体制の改善 |
|-----|-------|------------|----------------|
| 年度末 | | | |